

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年11月25日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日	備考
1	【高性能多核種除去設備の吸着塔2C自動空気抜き弁の配管ねじ込み部にじみについて】 協力企業作業員が高性能多核種除去設備において、吸着塔2C自動空気抜き弁の配管ねじ込み部に、にじみを確認。 当該弁の前弁を全閉にし、にじみが停止したことを確認。 当該弁は、高性能多核種除去設備で発生する水素のうち、滞留したものを排出するために使用しているもの。 高性能多核種除去設備運転時は、発生した水素が滞留しないため当該弁の前弁を全閉としても影響なし。 今後、当該弁を修理予定。	GⅢ	11月18日	
2	【高性能多核種除去設備の吸着塔2B自動空気抜き弁の配管ねじ込み部にじみについて】 協力企業作業員が高性能多核種除去設備において、吸着塔2B自動空気抜き弁の配管ねじ込み部に、にじみを確認。 当該弁の前弁を全閉にし、にじみが停止したことを確認。 当該弁は、高性能多核種除去設備で発生する水素のうち、滞留したものを排出するために使用しているもの。 高性能多核種除去設備運転時は、発生した水素が滞留しないため当該弁の前弁を全閉としても影響なし。 今後、当該弁を修理予定。	GⅢ	11月18日	
3	【地下水バイパス放水ポンプ入口弁の開固着について】 当直員が点検作業の準備のため地下水バイパス放水ポンプ入口弁を閉操作しようとしたが、当該弁が開固着しており閉側に操作が出来ないことを確認。 当該弁は通常「全開」であり、現在「開固着」のため、設備への影響は無し。 今後、当該弁を点検・修理予定。	GⅢ	11月18日	
4	【地下水バイパス循環ポンプ入口弁の開固着について】 当直員が点検作業の準備のため地下水バイパス循環ポンプ入口弁を閉操作しようとしたが、当該弁が開固着しており閉側に操作が出来ないことを確認。 当該弁は通常「全開」であり、現在「開固着」のため、設備への影響はなし。 今後、当該弁を点検・修理予定。	GⅢ	11月18日	誤記訂正 本文中のポンプ弁名称訂正 正：循環ポンプ入口弁 誤：放水ポンプ入口弁
5	【地下水バイパス循環ポンプ出口弁の開固着について】 当直員が点検作業の準備のため地下水バイパス循環ポンプ出口弁を閉操作しようとしたが、当該弁が開固着しており閉側に操作が出来ないことを確認。 当該弁は通常「全開」であり、現在「開固着」のため、設備への影響はなし。 今後、当該弁を点検・修理予定。	GⅢ	11月18日	誤記訂正 本文中のポンプ弁名称訂正 正：循環ポンプ出口弁 誤：放水ポンプ入口弁
6	【建屋内淡水化装置(A)SPT※1廃液移送ポンプA出口弁動作異常の発生について】 当直員が、建屋内淡水化装置の制御盤に「SPT廃液移送ポンプA出口弁動作異常」警報が発生し、建屋内淡水化装置(A)が自動停止したことを確認。 状況を確認したところ、工程の切り替え時にSPT廃液移送ポンプA出口弁 が全開になるまでの時間が、本来であれば35秒未満であるところ、35秒掛かっていることを確認。 他の淡水化処理装置が待機中のため、運用に影響なし。 今後、原因調査および修理予定。  ※1 SPT(サプレッションプール水サージタンク):セシウム吸着装置で処理した水を建屋内淡水化装置等の水源として一時的に貯蔵するために使用しているタンク	GⅢ	11月21日	
7	【復水貯蔵タンク用窒素発生装置No. 1の操作・確認不能について】 当直員が復水貯蔵タンク用窒素発生装置をNo. 2からNo. 1への切替操作時に、復水貯蔵タンク用窒素発生装置No. 1の運転情報の表示や設定を行う操作パネルが操作できない状態になっていることを確認。 復水貯蔵タンク用窒素発生装置はNo. 2を継続運転しているため、設備への影響なし。 今後、原因調査および交換修理予定。	GⅢ	11月22日	
8	【高性能多核種除去設備建屋給気ファン電気ヒータの不具合について】 当直員が免震重要棟集中監視室にて高性能多核種除去設備の警報が発生したため、現場盤を確認したところ「電気ヒータ電源喪失」の警報発生を確認。 現場盤の電気ヒータ4のランプが消灯し、ヒータが停止していた。 調査の結果、原因は断線と推定。 なお、電気ヒータは他に2台あり、正常運転しているため、給気ファンの運転に影響なし。 今後、修理予定。	GⅢ	11月22日	